

南中学校区CSだより

「CSとはコミュニティー・スクールの略。コミュニティー・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことです。」

〈令和6年度目標〉

地域・家庭・学校が当事者意識をもち、持続可能な子育ての推進

南中学校区学校運営協議会長
高橋 龍一

大子町立上小川小学校

大子町頃藤5017-2 (TEL 74-0029)

大子町立南中学校

大子町頃藤3708 (TEL 74-0024)

今年度の手応えを今後の活動へ ～第4回南中学校区学校運営協議会開催～

12月6日(金)上小川小学校にて、第4回南中学校区学校運営協議会が開催されました。今回は、「今の取組をふり返し、次年度につなぐ」というねらいで、寺門義典委員(上小川小学校教諭)のファシリテーションのもと、グループに分かれて、熟議を行いました。付箋を使って、それぞれが自分の思いや考えを伝え、「魅力ある学校にするには」という目的で熱心に話し合いました。



各班毎の熱い熟議

◆今年度の成果

- ・やまびこ祭にて、学校運営協議会主催の活動が盛り上がった。
- ・学校運営協議会の認知が広がっている。
- ・人と人との関わりが増え、子どもが笑顔になり、地域が活性化した。
- ・学校がかかわることで、最近の子どもの様子が分かった。
- ・学校サポーターズが立ち上がり、様々な活動に協力できた。
- ・各支援部ごとに進められる機能が良い。
- ・学校に入りやすくなった。
- ・子どもの顔を少し覚えた。
- ・学校に対する関心が高まった。
- ・子ども・保護者・地域・教員が触れ合った。
- ・サポーターズの皆さんが生き生きしていた。
- ・学校がきれいになった。
- ・登下校の見守りにより、子どもたちの安全確保できている。
- ・地域でも子どもたちとあいさつをし合うことができた。
- ・地域の応援で頑張れる子が増えた。



◆今後の課題

- ・募集や組織作りが大変だった。
- ・一つ一つの活動に向けての募集期間が、短かく、参加できなかった。
- ・連絡ツールの活用が必要。
- ・保護者への周知と啓発が必要。
- ・保護者のサポーターズ参加を増やす。
- ・中学校が統合になり、小学校と中学校の連続性や関わりが必要。
- ・中学校が統合されるので、地域全体で子どもたちを温かく見守りたい。
- ・改めて、学校課題を共有したい。
- ・サポーターの在り方を考える必要がある。
- ・コーディネーターが複数名必要。
- ・効果的で活動しやすい、参加しやすい環境づくりが必要。
- ・子どもの体験格差がある。
- ・子どもたちは、CSやサポーターズのことをどう感じているのか知りたい。



◆次年度への提言

- ・CSについての周知・啓発活動
⇒「CSだより」の地域配付(HPへの掲載、回覧板の活用)
- ・学校サポーターズの継続と活性化
⇒「できる人が、できるときに、できることを」負担なく行う。
以下の人を随時募集する。※方法の検討
 - ・上小川小の子どものために、尽くしたい人
 - ・活動を通して、社会貢献や自分の人生を豊かにしたい人
- ⇒「見に来るだけでもサポーター」
 - ・「学校たより」に月の予定を掲載し地域に配付する。
 - いつでもできる人が、できるときに見に来たり、協力したりできるようにする。
 - ・地域も学校も、保護者も過重な負担のない活動について熟議する。
 - ・サポーターの特技等を知らせる冊子を作成する。
- ⇒サポーターズのコーディネーター(相談役)を決める。
- ⇒CS及びサポーターズの年間活動計画を作成する。
- ・地域全体であいさつ運動を推進する。
 - ⇒①家庭で「おはよう」「行ってきます」「行ってらっしゃい」を交わす
 - ②登下校時に、地域の人が「散歩しながら」「庭の手入れをしながら」等、子どもたちとあいさつを交わす。
 - ③学校でも友達同士、学校教職員とあいさつを交わす。

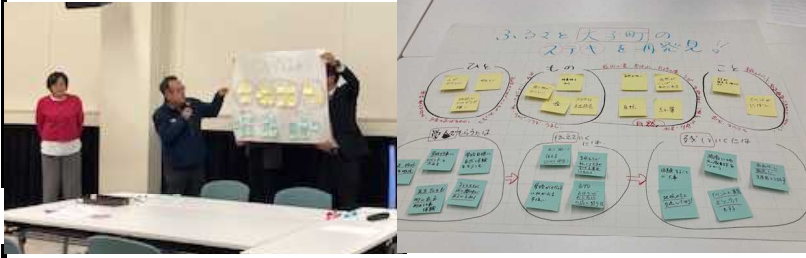


子どもたちにとって「楽しく通えるいい学校」はみんなの願い ～大子町コミュニティー・スクール研修会～

11月29日（金）、大子町中央公民館において、南中学区大子中学区・大子西中学区・生瀬中学区の4つのコミュニティー・スクール（以下CS）のメンバーが一堂に会し、研修会が開催されました。今回は、文部科学省CSマイスターの四柳千夏子様をお招きして、「熟議でつくる地域とともにある学校」というテーマで、ご講話と演習を行いました。今回、前半には熟議の必要性や方法の説明を聞き、後半には実際に「熟議」を行いました。最後に、その結果を代表グループが発表し、その充実ぶりに会場を唸らせました。四柳様からは、「大切なのは、「何のために」という目的意識を共有し、みんなで対話を重ね、当事者意識をもって推進していくこと」とのお話がありました。今回の学びを共有し、よりよいCSをつくっていききたいと思います。



熟議（熟慮して協議）のために
 ・安心して意見が言える場をつくる。
 ・意見や考えが可視化され、共有しやすくする。
 ・みんなが考え、納得解を導き出すプロセスが見える。
 ⇒話し合いが「自分事」になる！



←付箋を使って話し合い、みんなの思いを「見える化」する。

↑全体場で、付箋を使った熟議の内容を発表する川井CS委員

南中学校区CSの足跡

- ◆第1回学校運営協議会5月29日（水）【中公】
 - ・組織作り
 - ・学校運営方針の承認
 - ・南中学区CSの目指す地域像
 - ・今年度の計画
- ◆第2回学校運営協議会6月25日（火）【上小川小】
 - ・今年度の取組について
 - ・予算・保険・連絡手段
- ◆第3回学校運営協議会9月13日（金）【南中】
 - ・2学期の活動の見通し
 - <小学校>
 - ・稲刈り・スポフェス・やまびこ祭
 - <中学校>
 - ・登下校の見守り・閉校行事について
 - ・学校サポーターズの活用
- ◆第4回学校運営協議会12月6日（金）【上小川小】
 - ・今年度の活動の振り返り
- ◆第5回学校運営協議会2月14日（金）【上小川小】
 - ・次年度の組織・目標・構想

令和7年度C・Sに向けて

今年度5月に発足した南中学校区運営協議会の任期も、残すところ3ヶ月となりました。今年度も会長を中心に、スポーツ・フェスティバルややまびこ祭等に対する委員の皆様のご協力のおかげで、充実した教育活動が推進できています。ありがとうございます。今後、大子町教育委員会のご指導を受け、令和7年度の組織づくりや取組を進めていきます。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

子どもたちが「通いたい」と思える学校、
 保護者が「通わせたい」と思える学校、
 地域が「応援したい」と思える学校、
 学校職員が「働きたい」と思える学校を
 みんなでつくる

学校サポーターズ大活躍

今年6月、第2回学校運営協議会で、地域の応援団である「学校サポーターズ」をつくるという議決が図られ、地域の区長様、連絡班長様のご協力をいただきながら、募集や組織作り（暫定）を行いました。サポーターズは4つの支援部で構成され、今年度、学校の様々な教育活動やその環境整備を支援しました。その活躍の様子を写真で、お知らせします。

学校行事支援部

学習指導支援部



学校安全支援部

学校環境支援部



12月6日 学校運営協議会の前に教室訪問